

# YOTSUBA の 風

伊勢崎市立四ツ葉学園中等教育学校 学校通信 第24号 平成30年12月17日発行



## 祝 全国大会出場！ 科学の甲子園 & 科学の甲子園ジュニア

12月8日(土)、群馬大学荒牧キャンパスにおいて、第8回「科学の甲子園」群馬県予選会が開かれました。本校の4年生チームは、筆記競技と大会前に出題された課題実技競技、当日出題された課題を実験しながら導き出す実験競技の3種目の総合点で見事総合優勝に輝き、3月15日～18日さいたま市で行われる全国大会の出場権を獲得しました。「科学の甲子園」は、全国の科学好きな高校生が集い、競い合い、活躍できる場であり、理科・数学・情報における複数分野の競技を行うものです。この大会は、国立研究開発法人科学技術振興機構(JST)が創設し、科学好きの裾野を広げるとともに、トップ層を伸ばすことを目的としています。ちなみに、2年前の第4回「科学の甲子園ジュニア」では、4年生の難波・田尻・須賀の「群馬県チーム」が見事総合優勝(文部科学大臣賞)を果たしました。今回の「科学の甲子園」全国大会での活躍を期待しています。

### <四ツ葉学園チーム>

- ・難波 至壘(4年1組)
- ・山崎 那菜(4年1組)
- ・田尻 一輝(4年2組)
- ・日向野豊聖(4年2組)
- ・岡村 悠真(4年3組)
- ・堀川 愛生(4年3組)
- ・須賀 広幸(4年4組)



指定された材料のみを使って装置を制作し、シャトルを正確にとばす競技

また、12月7日(土)～9日(日)にかけて、茨城県つくば市つくば国際会議場において、第6回「科学の甲子園ジュニア」全国大会が開催されました。この大会には、本校の2年生チームが9月の群馬県予選会で準優勝となり、優勝した前橋三中との合同でチーム「群馬県」として出場しました。「科学の甲子園ジュニア」は、科学好きの裾野を広げるとともに、未知の分野に挑戦する探究心や創造性に優れた人材を育成することを目的として、全国の中学生が都道府県を代表して科学の思考力や技能を競うものです。筆記競技と実技競技が2種目(実験と工作)あり、総合得点で成績を出します。惜しくも入賞は成りませんでした。非常に貴重な経験を積むことができました。



### <群馬県チーム>

- ・柏井 史哉(2年2組)
- ・新井 成(2年2組)
- ・小淵 翔太(2年3組)



実技競技『ザ・キューブ2』

縦45cm×横45cm×高さ45cmの空間内に、長さ10m幅50mmのアルミテープ1巻を「走路面」として、直径20mm、のステンレス製の「球体」をできるだけゆっくり転がり落とす装置を製作し、「球体」が転がり始めてから「接地面」に着地するまでの所要時間の長さを競います。装置は事前に試作したうえで、当日は80分以内に会場で新たに製作し、競技を行います。